

防災訓練等指導業務報告書

| | | | | | | |
|-----|---------|---------|---------|---------|------|-----|
| リーダ | ファシリテータ | ファシリテータ | ファシリテータ | ファシリテータ | 事務局長 | 事務局 |
| | | | | | | |

| | | | | | |
|-------|--------------------|---------|--------------------|--------|---------------|
| 研修団体名 | くらしの相談員連絡会（愛媛医療生協） | 住所 | 新居浜市若水町1-7-45 | 電話 | 37-2000 |
| 研修日時 | 令和6年3月23日 土曜日 | 研修対象者 | くらしの相談員連絡会会員 | 研修人数 | 31名 6テーブル |
| 研修場所 | 新居浜市社会福祉センター 第2研修室 | 研修目的 | 有事に於ける避難所運営の体験を行う。 | | |
| 講師 | 馬越 健 | ファシリテータ | 近藤雅義、菅秀臣 | オブザーバー | 衣川裕二、川端悟、小野貴弘 |

事前打合せ

| | | | | |
|------------|---------------|---------------|--------|----------|
| 日時 | 令和6年3月6日 水曜日 | 15時30分～16時30分 | 場所 | 社会福祉センター |
| 参加者 研修者 | くらしの相談員 研修担当者 | 参加者 ネットワーク | 馬越リーダー | |

訓練等指導報告

・ 研修感想

・ 避難所内の情報をどのように全員に知らせるかということで、一番にトイレを開設することで大体個人の生理はおそらく1時間もしくは2時間以内に必ずおこりうるだろうと想定して、一番にトイレをそして二番目はペット人と動物をわけるといふふうなところ、あと犬・ネコ・カナリアといふことでここを分ける。
子どもだけで来るときがあるという事で部屋割りでは若い人で避難されている物同士でうまくどうマッチングを出すのかということが、本部だけではおそらく対応出来ないといふふうな事を考えています。

四番目の問題としては障がい者の家族が車でくる場合とおそらくファミリーでくる可能性があると思うので重度あるいは、車で来たときの避難場所が問題点としてあるのではないかと五番目としては妊婦さんが来たときの医師なり看護婦さんなりの確保が必要ではないか。緊急医療班の確保もあわせて必要になるの考えます。

・ 一緒に連れてきたペットの取り扱いが念頭に置くことどのようにするのか。外国人については、多分言葉が不自由なのでそのような人にどのように対応したらよいか分からない。

・ 問題としてはやっぱりトイレとペットがあがりました。ペットについては別に置場を確保してするか、またはペットともに避難してきた人と一緒にするかそれが非常に問題となりました。やっぱり離れたくない人もおられるけれどやはりたくさんの方が来るので対策を考えなければいけない。
入口の近くにテント等を設置して、飼い主がいけやすくして面倒を見るようにすればいいのではないかと。

・ 子どもたちは他の子どもたちと一緒に居るのがいいのではないかと。何人かの大人が監視をする必要がある。体調の悪い人は、感染症対策を考えて校舎の一室に入室してもらい、この時にはトイレの近い場所高齢者も同様で、入口に近くトイレに近い場所に配置して、元気な人は奥の方に配置を行った。通路は全ての所に行けるようにH型に設置しました。

・ ペットについては体育館に入れることは出来ないで、外にテントを張り場所を確保するかペット専用の教室を確保するようにした。障がい者とか病院関係者が来たときには保健室を利用したサービス提供が出来るように配慮を行った。

・ トイレの使用方法、喫煙場所、支給・支援物資の置き場所配布方法等については、まず担当者をきめて行けなければいけない。本部が設置されて担当者もきまるとは思いますがまず一番に担当者を決めることがたいせつだと思います。

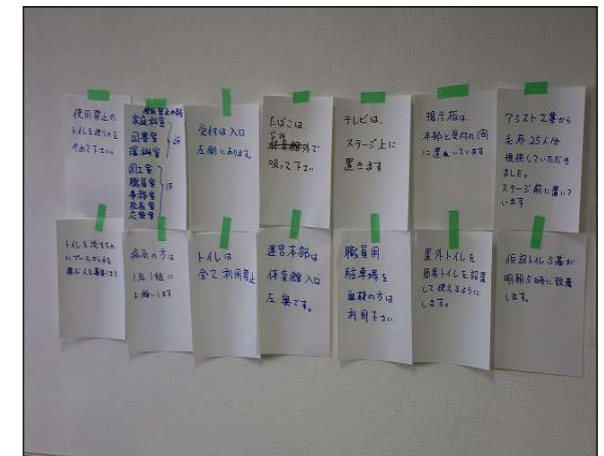
次から次へと来る被災者をどこへ、どこの部屋にということ、なかなか大変でとてもじゃないけれど大変だと思いました。誰が何をするかを決めておかないと大変なということを感じました。

・ 実際に災害が発生すると対策本部の作業・任務は大変な困難を伴う事を実感しました。トイレの問題は深刻。まず仮設トイレの設置して通路の確保を行う事も重要である。

山盛りになったトイレはプールの水を使って流した。（排出出来るか?）。家族構成を考えた体育館内の配置が必要で、荷物の置き場の確保も忘れずに行った。若い世帯は体育館の奥、高齢者世帯は入り口付近と基本的に決めた。掲示板は対策本部の前に設置した。

発行番号No.

令和6年3月23日



・ 講師寸評

今回の研修参加者は高齢者が大多数であり少し心配な所もありましたが、皆さん真剣に研修に取り組んでいました。研修感想では、能登半島地震の影響もありトイレに関する内容が多く普段の準備の必要性もこの研修で学び取ったようでした。
災害発生時には、自分が高齢者であることを自覚して落ち着いてた行動が出来るように務められればと思います。